

pettiwork

リファレンスマニュアル

バージョン 0.9.1

2008年7月14日

Copyright 2008 Exbridge, Inc. All Rights Reserved

リリース履歴

リリース 1

2008年3月27日

リリース 2

2008年7月14日

目次

リリース履歴

基礎

app フォルダ
log フォルダ
tmp フォルダ
vendors フォルダ
pettiwork フォルダ
pettiwork.php
config.php

app フォルダ

config フォルダ
controllers フォルダ
lib フォルダ
model フォルダ
services フォルダ
validator フォルダ
views フォルダ
web フォルダ

web フォルダ

.htaccess
index.php
css フォルダ
js フォルダ

config フォルダ

config.php
database.inc
language.ja.inc
logger.php
routing.php

controllers フォルダ

lib フォルダ

classes フォルダ
functions フォルダ

model フォルダ

services フォルダ

views フォルダ

default.tpl

xbpwContext ファンクション リファレンス

getController
getService
getUser
setUser
getUserParameter
setUserParameter
setAuthenticated
isAuthenticated
addCredential

isCredential

xbpwController ファンクション リファレンス

xbpwController
addCss
addJavaScript
addMetaHeader
setSession
getSession
clearSession
setFlash
getFlash
clearFlash
setCache
getCache
clearCache
clearAllCache
clearProperties
dispatch
render
redirectTo
forward
redirectToPath
redirectToUrl
validate
getErrors
synchronize
downloadFile

xbpwRequest ファンクション リファレンス

省略

xbpwService ファンクション リファレンス

assert
getDatabase
getValueObject
loadValueObject

xbpwUploadFile ファンクション リファレンス

省略

xbpwValidator ファンクション リファレンス

addError
getErrors

xbpwException ファンクション リファレンス

xbpwException

controller/xbpwMailController ファンクション リファレンス

xbpwMailController
getMessageId
getDate
getSubject
getFrom
getTo
getCc
getBcc
getBody
getAttachments

session/xbpwSession ファンクション リファレンス

xbpwSession
start
NotifyFn

user/xbpwSecurityUser ファンクション リファレンス

xbpwSecurityUser.php
isAuthenticated
setAuthenticated
addCredential
isCredential
clearSecurityUser
setUserParameter
getUserParameter

view/xbpwAbstractView ファンクション リファレンス

省略

view/xbpwDefaultView ファンクション リファレンス

省略

view/xbpwSmartyView ファンクション リファレンス

省略

logger フォルダ

function.logger.php
accessLog
debugLog
traceLog
warnLog
errorLog
fatalLog

util フォルダ

function.glib.php

- a
- d
- isNULL
- NVL
- LPAD
- LEN
- BYTE_LEN
- include_component
- convert_uri
- week
- week2ymd
- formatYmdHms
- unFormatYmdHms
- rm

function.tagHelpers.php

- null2br
- br2null
- input_s_tag
- input_a_tag
- input_j_tag
- form_tag
- input_tag
- input_password_tag
- input_hidden_tag
- input_file_tag
- button_tag
- checkbox_tag
- radiobutton_tag
- submit_tag
- submit_image_tag
- textarea_tag
- button_to
- link_to
- link_to_if

link_to_unless
link_to_function
select_tag
options_for_select
image_path
image_tag

class フォルダ

xbpwMail.php
xbpwXML.php
xbpwZip.php
xbpwFTP.php

ファイル構造

pettiwork フレームワークのファイル構造。(※一部のファイル・フォルダは省略)



基礎

pettiwork は、php 用の MVC フレームワークである。

モデル(M)、ビュー(V)、コントローラ(C)の位置づけを明確にしてあるほか、ログ、エクセプション、キャッシュ機能を持ち、国際言語に対応している。

app フォルダ

アプリケーション開発者は、app フォルダ内部を開発ベースとして開発を進める。

app フォルダ内部にはアプリケーションのソースファイルを配置する。

※詳細は [app フォルダ](#) 参照

log フォルダ

アプリケーションログは、log フォルダ内に出力される。

Linux 環境では、log フォルダに対して書き込み権限が必要。

tmp フォルダ

アプリケーションで利用するキャッシュファイルなどが、tmp フォルダ内に出力される。

Linux 環境では、tmp フォルダに対して書き込み権限が必要。

vendors フォルダ

pettiwork にない機能を補うために外部ライブラリを利用する場合、そのソースファイルを vendors フォルダに配置する。

外部ライブラリとは、例えば「pear」や「somfa」などである。

pettiwork フォルダ

pettiwork フレームワークのルートフォルダ。

フレームワークの本体となるクラスファイル群から構成される。

pettiwork.php

フロントコントローラによって、最初にこのファイルが読み込まれる。

pettiwork フレームワークのための設定情報がロードされる。

config.php

システム情報を設定する。

pettiwork をデフォルト運用する場合は、不要。

app フォルダ

config フォルダ

テーブル定義、データベース接続設定、システム用定数、ログ出力設定などのファイルを配置する。

controllers フォルダ

画面に応じたコントローラを配置する。

lib フォルダ

アプリケーションにおいて、共通で利用するクラスや関数のファイルを配置する。

models フォルダ

テーブルまたはビューに対応したモデルを定義する。ライブラリによって自動生成される。

services フォルダ

主に業務処理を実装するのがサービスである。
コントローラからサービスを呼出し、サービス内でモデルとやり取りをする。

views フォルダ

画面の html を例えば「.tpl」という拡張子のファイルで配置する。
ファイルごとに画面に応じた内容を記述する。
ヘッダーやフッター等、各画面に共通する部分は、layout フォルダに通常のテンプレートとは別のファイルとして配置する。

web フォルダ

フロントコントローラを配置する。例えば web サーバーのエイリアス指定するフォルダである。

※詳細は **web フォルダ**参照

config フォルダ

config.php

アプリケーション設定情報を記述する。

database.inc

データベース接続情報を記述する。

language.[lang].inc

アプリケーションで扱う文言定数を記述したファイル。

ファイル名の一部で使用言語を明示している。

language.ja.inc

language.en.inc

logger.php

ログ出力設定情報を記述する。

routing.php

ルーティング設定情報を記述する。

lib フォルダ

classes フォルダ

アプリケーション内で共通に扱うクラスを配置する。

function フォルダ

アプリケーション内で共通に扱う関数を配置する。

views フォルダ

views フォルダ > layout フォルダ

default.tpl

画面レイアウトのデフォルト表示ファイル。各画面に共通のヘッダーやフッターなどを記述する。

web フォルダ

.htaccess

アプリケーションごとで Web サーバーの動作を変える場合に設定する。

css フォルダ

スタイルシートを記述したファイルを配置する。

js フォルダ

JavaScript を記述したファイルを配置する。

pettiwork フォルダ

xbpwContext ファンクション リファレンス

基幹制御系クラス。スタティッククラス。フレームワーク内外で自由に使用される。

getController

機能

コントローラインスタンスを取得する。
フロントコントローラで指定するコントローラ名称に基づいて、
適切なコントローラのオブジェクトが返される。

引数

なし

例

```
//web/index.php の記述
define('PW_ROOT_DIR',
realpath(dirname(dirname(dirname(__FILE__)))));
define('PW_PREFIX', 'project1');
define('PW_CTL',    'project1/application1');
define('PW_APP',    'application1');
define('PW_SRV',    'service1');

try{
    require_once(PW_ROOT_DIR . DIRECTORY_SEPARATOR . 'pettiwork.php');
    $controller = & xbpwContext::getController();
    $controller->dispatch();
}
catch (Exception $e) {
    echo output_error($e);
}
```

getService

機能

サービスインスタンスを取得する。

引数

1. サービス名 (**string**)
2. 「services」直下の任意のフォルダ名 (**string**)…省略可

例

```
$sv = & xbpwContext::getService('sample');  
$sv->sampleFundtion();
```

setUser

機能

ユーザ情報オブジェクト (xbpwSecurityUser) を設定する。

引数

1. ユーザ情報 (**object**)

例

getUser

機能

ユーザ情報オブジェクト (xbpwSecurityUser) を取得する。

引数

なし

例

setUserParameter

機能

ユーザー情報オブジェクトに、キーと値で属性情報値を設定する。

引数

1. キーとする値 (**string**)
2. キーに対応する値 (**string**)

例

getUserParameter

機能

ユーザー情報オブジェクトより、キーで指定された属性情報値を取得する。

引数

1.取得するキー値(**string**)

例

setAuthenticated

機能

認証状態を設定する。

引数

1.認証状態(**boolean**) True:認証状態、False:非認証状態

例

isAuthenticated

機能

認証状態を判定する。

引数

なし

例

addCredential

機能

資格情報を追加する。

引数

1.資格識別情報キー(**string**)

例

isCredetial

機能

資格情報を判定する。該当する資格情報が存在するかが判定基準になる。

引数

1.資格識別情報キー(**string**)

例

xbpwController ファンクション リファレンス

コントローラの基底クラス。

addCss

機能

テンプレートで使用するスタイルシートファイルを追加する。

引数

1.CSS ファイル(**string**)

ドキュメントルートまたはエイリアスからの相対パスを設定する。

例

```
//web ルートフォルダ以下の js/javascript.js を追加
$this->addCss('css/style.css');
```

addJavaScript

機能

テンプレートで使用する JavaScript ファイルを追加する。

引数

1.JavaScript ファイル(**string**)

ドキュメントルートまたはエイリアスからの相対パスを設定する。

例

```
//web ルートフォルダ以下の js/javascript.js を追加
$this->addJavaScript('js/javascript.js');
```

addMetaHeader

機能

テンプレートで使用する Meta タグを追加する。

引数

1.Meta キー(**string**)

2.Meta 値 (**string**)

例

```
//メタヘッダーを追加
$this->addMetaHeader('Content-Type', 'application/xhtml+xml');
```

setSession

機能

セッション変数にキーと値を設定する。

引数

- 1.セッションキー(**string**)
- 2.セッション値(**valiant**)

例

getSession

機能

セッション変数からキーに対応する値を取得する。

引数

- 1.セッションキー(**string**)

例

clearSession

機能

セッション変数からキーに対応する値を削除する。

引数

- 1.セッションキー(**string**)

例

setFlash

機能

フラッシュ変数にキーと値を設定する。

引数

- 1.フラッシュキー(**string**)
- 2.フラッシュ値(**valiant**)

例

getFlash

機能

フラッシュ変数からキーに対応する値を取得する。

引数

- 1.フラッシュキー (**string**)

例

clearFlash

機能

フラッシュ変数からキーに対応する値を削除する。

引数

- 1.フラッシュキー (**string**)

例

setCache

機能

キャッシュ変数にキーと値を設定する。

引数

- 1.キャッシュキー(**string**)
- 2.キャッシュ値(**valiant**)

例

getCache

機能

キャッシュ変数からキーに対応する値を取得する。

引数

- 1.キャッシュキー(**string**)

例

clearCache

機能

キャッシュ変数からキーに対応する値を削除する。

引数

- 1.キャッシュキー(**string**)

例

clearAllCache

機能

全てのキャッシュ変数を削除する。

引数

なし

例

clearProperties

機能

コントローラに保持する全てのプロパティ変数を削除する。
(「_」から始まる変数は対象外。)

引数

なし

例

dispatch

機能

コントローラに処理を割当ててる。

引数

なし

例

```
require_once(PW_ROOT_DIR . DIRECTORY_SEPARATOR . 'pettiwork.php');  
$controller = & xbpwContext::getController();  
$controller->dispatch();
```

render

機能

ビューのレンダリングをする。
テンプレートファイルが見つからなかったり、エラーが発生している場合、
エラー画面をレンダリングする。

引数

-
1. テンプレート名 (**string**)…省略可
 2. ステータスコード (**string**)…省略可

例

```
//main フォルダの index.tpl を使用してレンダリングする
$this->render('main/index');
```

redirectTo

機能

指定した同一コントローラ内のアクションにリダイレクトする。
パラメータを指定した場合は、自動的にクエリ文字列に変換されて `url` に追加される。

引数

1. アクション名 (**string**)
2. パラメータ (**array**)…省略可

例

```
//ユーザ ID を指定して 'UserSearch' メソッドにリダイレクト
$this->redirectTo('UserSearch', array('user_cd', $this->user_cd));
```

forward

機能

指定したアクションに遷移する。

引数

1. アクション名 (**string**)

例

```
//executeShow'メソッドに遷移
$this->forward('Show');
```

redirectToPath

機能

指定したコントローラのアクションにリダイレクトする。
パラメータを指定した場合は、自動的にクエリ文字列に変換されて `url` に追加される。

引数

1. パス (**string**)
2. パラメータ (**array**)…省略可

例

//user.php の UserSearch メソッドにリダイレクト

```
$this->redirectToPath ('user.php/UserSearch', array('user_cd' => 'taro'));
```

redirectToUrl

機能

指定した URL へダイレクトする。target 属性を指定可能。

引数

- 1.URL(**string**)
- 2.ターゲット先(**string**)…省略可

例

//新しいウィンドウで'userSearch.php'を表示

```
$this->redirectToUrl('userSearch.php', 'brank');
```

validate

機能

バリデータメソッド。

バリデータが存在すれば、バリデータ処理を実行する。

引数

なし

例

//入力チェック

```
if (!$this->validate()) {  
    $this->errors = $this->getErrors();  
}
```

getErrors

機能

バリデータを実装した場合、バリデータで発生したエラー情報を取得する。

引数

なし

例

//入力チェック

```
if (!$this->validate()) {  
    $this->errors = $this->getErrors();  
}
```

synchronize

機能

パラメータをコントローラのプロパティに割当ててる。

引数

- 1.パラメータ (**array/object**)

例

```
//ValueObject のプロパティをコントローラプロパティとする  
$this->synchronize($vo);
```

downloadFile

機能

ファイルをダウンロードさせる。

引数

- 1.ファイルコンテンツ(**binary**)
- 2.ファイル名(**string**)
- 3.文字エンコード(**string**)…省略可

例

```
//ファイルダウンロードダイアログ  
$contents = 'test';  
$file = 'test.txt'  
$this->downloadFile($contents, $file, 'SJIS-win');
```

xbpwRequest **ファンクション** **リファレンス**

リクエストされたアクションとパラメータを処理するクラス。

フレームワーク内で使用するため省略。

xbpwService ファンクション リファレンス

サービスの基底クラス。メソッドの引数として、基本は `ValueObject` を用いる。

assert

機能

`ValueObject` に必要なプロパティ値が存在するか確認する。

引数

1. チェック項目 (**string/array**)
2. `ValueObject` (**object**)

戻り値

1. 結果 (**boolean**)

例

```
// 必須パラメータ「user_cd」、「user_nm」をチェック
if (!$this->assert(array('user_cd', 'user_nm'), $vo)) {
    return false;
}
```

getDatabase

機能

データベース用オブジェクトを取得する。

`pettiwork` では、`somfa` オブジェクトを使用している。

引数

なし

例

```
// somfa オブジェクトの取得
$somfa = $this->getDatabase();
```

getValueObject

機能

`ValueObject` を生成する。

引数が省略された場合、空の `ValueObject` が生成される。

引数

1. パラメータ (**array**)
2. `ValueObject` 名 (**string**)…省略可

例

```
//コントローラから ValueObject を生成
```

```
$vo = $sv->getValueObject($this);
```

```
//空の ValueObject を生成
```

```
$vo = $sv->getValueObject();
```

loadValueObject

機能

ValueObject のプロパティを展開する。

引数

- 1.展開先パラメータ(**object**)
- 2.展開元の ValueObject(**object**)

例

```
//コントローラへ ValueObject のプロパティを展開する
```

```
$sv->loadValueObject($this, $vo);
```

xbpwUploadFile ファンクション リファレンス

フレームワーク内で使用するため省略。

xbpwValidator ファンクション リファレンス

バリデータの基底クラス。リクエストパラメータをチェックする。

addError

機能

エラー情報を追加する。

引数

- 1.エラー情報キー(**string**)
- 2.エラーメッセージ(**string**)

例

```
//ユーザ CD に関するエラーメッセージを追加する  
$this->addError('user_cd', 'ユーザ CD が入力されていません');
```

getErrors

機能

エラーメッセージを取得する。

引数

なし

例

xbpwException ファンクション リファレンス

Exception を継承したクラス。

xbpwException

機能

コンストラクタ。

エラーレベルに応じたエラーメッセージを追加する。

引数

- 1.エラーナンバー(**variant**)
- 2.エラーメッセージ(**string**)

例

//エクセプションを発生させる

```
throw new xbpwException(E_USER_ERROR, 'value object class not found');
```

pettiwork フォルダ > controller フォルダ

xbpwMailController ファンクション リファレンス

xbpwController を継承し、PHP プログラムにフォワードされたメールを標準入力から受取することを目的としたクラス。

getMessageId

機能

メッセージ識別 ID を取得する。

引数

なし

例

getDate

機能

送信日時を取得する。

引数

なし

例

getSubject

機能

件名を取得する。

引数

なし

例

getFrom

機能

送信者を取得する。

引数

なし

例

getTo

機能

To を取得する。

宛先が 1 人の場合、文字列が返る。複数の場合、配列が返る。

引数

なし

例

getCc

機能

Cc を取得する。

宛先が 1 人の場合、文字列が返る。複数の場合、配列が返る。

引数

なし

例

getBcc

機能

Bcc を取得する。

宛先が 1 人の場合、文字列が返る。複数の場合、配列が返る。

引数

なし

例

getBody

機能

本文を取得する。

引数

なし

例

getAttachments

機能

添付ファイルを取得する。

配列[ファイル名] = コンテンツ

引数

なし

例

pettiwork フォルダ > **session** フォルダ

xbpwSession ファンクション リファレンス

フレームワーク内で使用するため省略。

pettiwork フォルダ > **user** フォルダ

xbpwSecurityUser ファンクション リファレンス

フレームワーク内で使用するため省略。

pettiwork フォルダ > view フォルダ

xbpwAbstractView ファンクション リファレンス

ビューの基底クラス。

フレームワーク内で使用するため省略。

xbpwDefaultView ファンクション リファレンス

xbpwAbstractView を継承した、ビュー表示用クラス。

フレームワーク内で使用するため省略。

xbpwSmartyView ファンクション リファレンス

xbpwAbstractView を継承した、ビュー表示用クラス。

フレームワーク内で使用するため省略。

xbpettiwork フォルダ > logger フォルダ

function.logger.php

log level
1:DEBUG
2:INFO
3:WARN
4:ERROR
5:FATAL

accessLog

機能

アクセスログを出力する。ログ出力レベル 2 以下。

引数

- 1.出力メッセージ(**string**)
- 2.クラス名(**string**)
- 3.ファイル名(**string**)
- 4.行数(**integer**)

例

debugLog

機能

デバッグログを出力する。ログ出力レベル 1 以下。

引数

- 1.出力メッセージ(**string**)
- 2.クラス名(**string**)
- 3.ファイル名(**string**)
- 4.行数(**integer**)

例

traceLog

機能

インフォログを出力する。ログ出力レベル 2 以下。

引数

- 1.出力メッセージ(**string**)
- 2.クラス名(**string**)
- 3.ファイル名(**string**)
- 4.行数(**integer**)

例

warnLog

機能

警告ログを出力する。ログ出力レベル 3 以下。

引数

- 1.出力メッセージ(**string**)
- 2.クラス名(**string**)
- 3.ファイル名(**string**)
- 4.行数(**integer**)

例

errorLog

機能

エラーログを出力する。ログ出力レベル 4 以下。

引数

- 1.出力メッセージ(**string**)
- 2.クラス名(**string**)
- 3.ファイル名(**string**)
- 4.行数(**integer**)

例

fatalLog

機能

致命的エラーログを出力する。ログ出力レベル 5 以下。

引数

-
- 1.出力メッセージ(**string**)
 - 2.クラス名(**string**)
 - 3.ファイル名(**string**)
 - 4.行数(**integer**)

例

pettiwork フォルダ > util フォルダ

function.glib.php

ユーティリティ用の関数群。

a

機能

デバッグ情報を画面 UI 上に表示する。

引数

1. デバッグする変数(**valiant**)

例

```
//コントローラの持つ値を画面表示する  
a($this);
```

d

機能

`var_dump` のショートカット。

引数

1. デバッグする変数(**valiant**)

例

```
//コントローラの持つ値を画面表示する  
d($this);
```

isNULL

機能

NULL を判定する。

引数

1. 変数(**valiant**)

例

NVL

機能

NULL を指定された値で置換する。

引数

- 1.NULL 判定変数
- 2.置換対象文字列

例

LPAD

機能

指定桁数で左詰めする。

引数

- 1.対象文字列
- 2.左詰め桁数

例

RPAD

機能

指定桁数で右詰めする。

引数

- 1.対象文字列
- 2.右詰め桁数

例

LEN

機能

文字列の長さを取得する。

半角、全角混在、UTF-8、SJIS、EUC でも同じ結果を得る。

引数

- 1.対象文字列
- 2.文字コード

例

BYTE_LEN

機能

文字列のバイト数を取得する。

引数

- 1.対象文字列

例

include_component

機能

ビュー内で、テンプレートコンポーネントを使用する。

対象テンプレートファイルは「app/views/component」以下に配置する。

引数

- 1.テンプレートファイル(**string**)
- 2.配列(**array**)

例

```
<?php  
echo include_component('sample.tpl', array('id' => $m->id, 'name' => $m->name));  
?>
```

convert_uri

機能

PW_WEB_ALIAS が設定されている場合、先頭に補完した値を返す。

引数

- 1.URI

例

week

機能

日付から年週を取得する。

引数

- 1.日付
- 2.開始曜日 (0:日...6:土)
- 3.週タイプ (1:1月1日を必ず第1週とする
2:1月1日を含む週を前年の最終週とする
3:1月1日を含む週を第1週とする)

例

week2ymd

機能

年週から日付を取得する。

引数

- 1.年週
- 2.週の開始日/終了日 (0:週の開始日、1:週の終了日)
- 3.開始曜日 (0:日...6:土)
- 4.週タイプ (1:1月1日を必ず第1週とする
2:1月1日を含む週を前年の最終週とする
3:1月1日を含む週を第1週とする)

例

formatYmdHms

機能

YYYYMMDDHHmmSS を YYYY-MM-DD HH:mm:SS 形式で返す。

引数

- 1.年月日時 (YYYYMMDDHHmmSS)

例

unFormatYmdHms

機能

YYYY-MM-DD HH:mm:SS を YYYYMMDDHHmmSS 形式で返す。

引数

- 1.年月日時 (YYYY-MM-DD HH:mm:SS)

例

rm

機能

ディレクトリをファイルごと削除する。

引数

1.ディレクトリへのパス

例

function.tagHelpers.php

ビューテンプレートの html タグ入力補助関数を記述したファイル。

input_s_tag

機能

数字用インプットタグヘルパー。

「ime-mode:disabled」「text-align:right」で数字用入力エリアとして用いる。

引数

- 1.名前(**string**)
- 2.値(**string**)
- 3.属性リスト(**array**)
- 4.0 表示【値が 0 の時、true:非表示、false:表示】

例

input_a_tag

機能

英数字用インプットタグヘルパー。

「ime-mode:disabled」「text-align:left」で英数字用入力エリアとして用いる。

引数

- 1.名前(**string**)
- 2.値(**string**)
- 3.属性リスト(**array**)

例

input_j_tag

機能

日本語入力用インプットタグヘルパー。

「ime-mode:active」で日本語入力エリアとして用いる。

引数

- 1.名前(**string**)
- 2.値(**string**)
- 3.属性リスト(**array**)

例

form_tag

機能

form タグヘルパー。
属性リストに「multipart」を含めると、
自動的に「enctype="multipart/form-data"」が出力される。

引数

1. アクション URL(**string**)
2. 属性リスト(**array**)

例

```
//ファイルアップロード用フォームタグ
<?php echo form_tag('action/get', Array('multipart' => true)); ?>
↓
<form method="post" enctype="multipart/form-data" action="action/get">
```

input_tag

機能

input タグヘルパー。

引数

1. 名前(**string**)
2. 値(**string**)
3. 属性リスト(**array**)

例

```
//名前が name のテキストボックスを生成
<?php echo input_tag('name', 'taro'); ?>
↓
<input type = "text" name="name" value="taro" >
```

input_password_tag

機能

パスワードタイプの input タグヘルパー。

引数

1. 名前(**string**)
2. 値(**string**)

3.属性リスト(**array**)

input_hidden_tag

機能

ヒドウンタイプの input タグヘルパー。

引数

- 1.名前(**string**)
- 2.値(**string**)
- 3.属性リスト(**array**)

例

input_file_tag

機能

ファイル参照タイプの input タグヘルパー。

引数

- 1.名前(**string**)
- 2.値(**string**)
- 3.属性リスト(**array**)

例

button_tag

機能

ボタンタイプの input タグヘルパー。

引数

- 1.名前(**string**)
- 2.値(**string**)
- 3.属性リスト(**array**)

例

checkbox_tag

機能

チェックボックスタイプの input タグヘルパー。

引数

-
- 1.名前(**string**)
 - 2.値(**string**)
 - 3.チェック状態(**boolean**)
 - 4.属性リスト(**array**)

例

radiobutton_tag

機能

ラジオボタンタイプの input タグヘルパー。

引数

- 1.名前(**string**)
- 2.値(**string**)
- 3.チェック状態(**boolean**)
- 4.属性リスト(**array**)

例

submit_tag

機能

送信ボタンタイプの input タグヘルパー。

引数

- 1.名前(**string**)
- 2.属性リスト(**array**)

例

submit_image_tag

機能

画像を使用した送信ボタンタイプの input タグヘルパー。

引数

- 1.画像ファイルへのパス(**string**)
- 2.属性リスト(**array**)

例

textarea_tag

機能

テキストエリアタグヘルパー。

引数

- 1.名前(**string**)
- 2.内容(**string**)
- 3.属性リスト(**array**)

例

button_to

機能

ボタンリンクタグヘルパー。

引数

- 1.値(**string**)
- 2.URL(**string**)
- 3.属性リスト(**array**)

例

link_to

機能

アンカータグヘルパー。

引数

- 1.値(**string**)
- 2.URL (**string**)
- 3.属性リスト(**array**)

例

link_to_if

機能

条件付きでアンカータグヘルパー。
条件が偽であればリンクにはならない。

引数

- 1.条件(**boolean**)

-
- 2.値(**string**)
 - 3.URL (**string**)
 - 4.属性リスト (**array**)

例

[link_to_if_unless](#)

機能

条件付きでアンカータグヘルパー。
条件が真であればリンクにはならない。

引数

- 1.条件(**boolean**)
- 2.値(**string**)
- 3.URL (**string**)
- 4.属性リスト (**array**)

例

[link_to_function](#)

機能

JavaScript 起動アンカータグヘルパー。

引数

- 1.値(**string**)
- 2.JavaScript 関数
- 3.属性リスト(**array**)

例

[select_tag](#)

機能

セレクトボックスタグヘルパー。
選択リストは、「`option_for_select`」を使用する。

引数

- 1.名前(**string**)
- 2.選択リスト(**array**)

3.属性リスト(**array**)

例

options_for_select

機能

選択リスト用関数。

引数

- 1.選択リスト配列(**string**)
- 2.selected にする値(**string**)
- 3.属性リスト(**array**)…オプション

例

image_tag

機能

イメージタグヘルパー。

引数

- 1.画像ファイル名(**string**)
- 2.属性リスト(**array**)

例

image_path

機能

画像ファイルのパスを返す。

フォルダは「images」、拡張子は「png」であること。

引数

- 1.画像ファイルソース(**string**)

例

xbpettiwork フォルダ > **util** フォルダ > **class** フォルダ

xbpwMail.php

メール送信に関するクラス。

xbpwXML.php

XML の読書きに関するクラス。

xbpwZip.php

ZIP 圧縮を行うクラス。

xbpwFTP.php

FTP 接続に関するクラス。